



PEARL WEDDING TOBA

Wedding ceremony once again.

鳥羽市観光協会

結婚 30 周年を迎えた記念日を「真珠婚」といいます。



ご両親やお世話になった方へ「真珠婚式」をプレゼントしませんか

ご両親など、大切な方へのプレゼントとして、代理の方がお申し込みいただくことも可能です。チャペルでのご参列、交流会も、もちろんご一緒いただけます。真珠婚式だけでなく、鳥羽では美しい景色やおいしい海の幸もたっぷり楽しめます。素敵な思い出を、特別な日の記念に贈りませんか。

※代理申し込みの場合は、資料等送付先を必ず明記してください。

ご結婚30周年

真珠婚式のご案内

開催日：毎月 30 日（2 月・12 月は除く）

最小催行人員：5 組

時間：受付 11:00 ~ 開式 13:00 ~

場所：鳥羽市内チャペル

対象：結婚 30 周年を迎えるご夫婦

参加費：ご夫婦で 20,000 円、
参列者 1 人につき 1,500 円（小学生以上）

貸出衣装：ウエディングドレス（パール、ブーケ付き）、
タキシード ※別途有料（ご夫婦で 30,000 円）

応募・申し込み：メールまたは郵送にて、

○郵便番号 ○住所 ○夫婦氏名 ○電話番号 ○結婚記念日

○真珠婚式参加希望月 を明記のうえ、下記あて先へお申し込みください。

※参加希望月の 1 カ月前までにお申し込みください。（各月、先着 20 組様）



一般社団法人 鳥羽市観光協会

〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町 1-7

TEL：0599-25-3019 FAX：0599-25-6358

Mail：info@toba.gr.jp

鳥羽真珠婚

検索



鳥羽で祝う、30回目の結婚記念日。



30年、一緒にいてくれて ありがとう。

人生を共に歩み始めた日から30年。
楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、悩んだこと。
真珠婚式は、いろいろなことを乗り越えてきた月日を振り返りながら、
夫婦の絆を再確認し、
これからの2人の健康と幸せを願う、
大切なセレモニーです。

あらためてお互いへの「ありがとう」と
「これからもよろしく」を形にして、
2人の新しいスタートを鳥羽から始めませんか。



感動的な退場の際のパールシャワー

結婚30年目の記念日、真珠婚とは？

海の中で、ゆっくりと時間をかけて育まれる真珠は、
歳月をかけて深くなる夫婦の絆に似ています。真珠婚は、
2人で築きあげた30年を祝い、いつまでも若々しく、
健康長寿で暮らすことを願う結婚記念日なのです。

真珠婚式

当日のプログラム

<チャペルにて>

- ご夫妻入場
- 讃美歌 312番 (一同起立)
- 聖書朗読 (一同着席)
- お祈り
- 祝福 (ご夫妻聖壇へ)
- 愛の誓い、祝祷
- 奏楽 (退場の際にパールシャワー)

<バンケットルームにて>

- 交流会
- アコヤ貝の
ラブレター交換



真珠婚式が近づいて来るに従って、それまでの様々なことがよみがえり気持ちが高ぶって来ました。本番の真珠婚式では一気に最高潮になり、涙が止まりませんでした。やって良かった。そしていつもの様に日常の始まりです。行うことは変わりません。しかし、気持ちが変わりました。妻と2人の新しい人生の始まりです。すばらしい変化と思い出をありがとうございました。

三重県 U様



チャペルでの本格的な式

2人が再スタートをきる、 30年目の結婚式！

苦楽を共にして三十年を歩んできた私達のような夫婦にとりましては、これまでの三十年を振り返り、そして、これからの人生を考えるととても大切な節目であり、この「真珠婚式」は大変意味深いものであったと再認識させられるものであります。

大阪府 M様

55歳でウエディングドレスを着て恥ずかしくないのかなど思いましたが、年齢はいくつになっても乙女心は純白のウエディングドレスを夢見てしまいますね。神父さんの前で泣いている私を見て、主人が「何で泣いているの?」と言いました。思わず「純白のウエディングドレスが着れて嬉しくてね」と言いました。真珠婚を終えてからは、以前にもまして、2人仲良く毎日を送っています。

広島県 H様

手作りならではのきめ細やかで心温まる挙式に感謝の気持ちでいっぱいです。結婚式を挙げていなかった私どもにとりましては、鳥羽での真珠婚の一日は生涯忘れ得ぬ大切な記念日となりました。

東京都 N様

涙あり笑いありの交流会



アコヤ貝のラブレター



2人の思い出やこれからの夢などを語っていただきます。(上)

普段はなかなか言えない感謝の気持ちをお互いに伝えあいます。(下)

鳥羽は「真珠」と 「夫婦愛」のまち

鳥羽は御木本幸吉が世界で初めて真珠養殖に成功した地です。その陰には、妻うめの献身的な援助がありました。うめが取り出したアコヤ貝から5つの半円真珠が見つかった時、2人は涙を流して喜んだそうです。

真珠を生み出したのはまさに幸吉とうめの「夫婦愛」。鳥羽は「真珠発祥の地」であり、また、「夫婦愛のまち」でもあります。

